

# ケアマネ 通信くしろ

2025. 1. 7 発行

発行

釧路地区介護支援専門員連絡協議会

事務局

老健くしろ指定居宅介護支援事業所  
釧路市昭和190番地4462

(介護老人保健施設老健くしろ内)

TEL 0154-55-2567

FAX 0154-53-3010

第 68 号



## 釧路地区介護支援専門員連絡協議会開催

令和6年9月20日（金）まなぼっと 多目的ホール

2024年度第1回自主研修会として事例検討会を約70名の参加のもと実施しました。

事例検討開始前に当協会の二口会長より、事例検討を実施するあたりの説明がありました。8人1グループに分かれ、事前に司会、サブ、事例提供者と役割分担。司会の進行のもと、参加者の自己紹介、事例提供者からの事例内容の説明を行いました。どのグループも活発な質問・意見が出ている様子で、時間の経過を忘れる程、熱いものとなり時間制限がなければ、いつ止まるだろうという勢いでもありました。

各グループの事例提供者も解決や今後の手立てにも役立つと思われ、また、メンバーも色々な意見を他のメンバーから聞くことにより、新たな視点が見つかり、実りのあった事例検討会になったと思います。

役割で、事例提供、司会、サブを担って下さった皆様、本当にお疲れ様でした。

次回の開催をまた楽しみにしたいと思います。

(佐々木)



# 令和6年度 釧路市介護給付適正化ケアプラン点検研修会

【テーマ】「実践事例から考える多職種連携」

## 【講師】

一般社団法人 北海道ケアマネジメントサポートリンク 大島 一樹先生

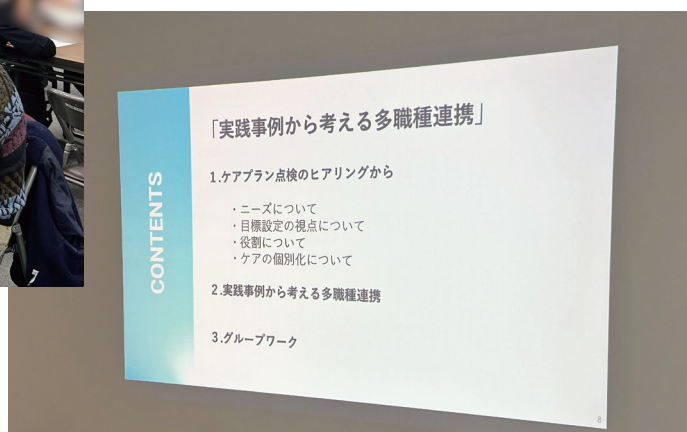
今回の研修会は初めにケアプランのヒアリングからニーズ、目標設定の視点、役割、ケアの個別化についてお話がありました。利用者の希望や誰にでも当てはまるニーズを記載するだけではなく、ケアマネジャーとして個々の利用者の特性に応じたニーズを記載することも大切であり、具体的な内容で記載することにより目標設定も広げやすくなる。目標設定も抽象的な表現ではなく具体的な内容で記載し実際に解決が可能と見込まれるものではなくてはならない。どこに支援が必要なのかを明確にすることにより個別化されたケアプランにつながると、資料の具体例をもとにとっても分かりやすくお話して下さいました。

後半は実践から考える多職種連携について『チームとは』『ACPの進め方』などのお話を伺った後「どうすれば、地域の多職種連携をより推進できるか」をテーマにグループワークを行いました。

テーマにおける課題、具体的な手立てや方法について意見交換し「訪問看護を利用している方は病院との連携がしやすい。」「コロナ過で入院中の方と会うことができなくなり、退院調整する際のケアマネの負担が増えた。コロナ前は何回も会えたのに…けれどもケアマネの工夫も必要だよね。」と色々な意見がありました。

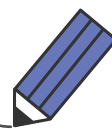
大島先生よりアフターコロナの課題について、連協を通して医療職の方を交えた研修を行ってみるのもいいかもしれないとアドバイスを頂きました。もし実現できれば「顔の見える関係」ができる良い機会になるかもしれませんね。

(伊東)





# ケアプラン点検体験談



令和6年度介護給付適正化ケアプラン点検のヒアリングに参加してきましたので感想を…。前回私がヒアリング受けたのがコロナ前でだいぶ年数も経っていたのでどのように進行していくのが楽しみに当日迎えました。

会場に着いたらまずは、会場前の廊下で椅子に座って待機。自分の前に点検を受けたケアマネさんも終了後スッキリとした表情で帰られていきました。会場に入ると11月28日の研修会でも講師をしてくださった大島先生がメインで進行。

まずはお互い自己紹介、自事業所の特徴などを質問されアイスブレイク…といった感じで点検はスタート。

もしかしたら以前にケアプラン点検を受けた方、もしくはまだ受けたことない方にはこの点検というのが「色々指摘される」「アセスメントとかダメ出しされる…」そんなイメージを持っている方もいるかもしれませんが、そんなことは全然なく終始穏やかな雰囲気でした。点検というよりは提出事例を一緒に深めたというのが率直な感想です。個人的には今回の点検を通して新たな気づきや支援のヒントを得ることもできたので点検を受けて良かったと思っています。

(相澤)



## 「ケアプラン点検」って、こんな様子でした

初めてケアプラン点検に抜擢（?!）されました。まさか、自分が、とは…。

アセスメントシート、ケアプラン、モニタリング表、利用サービスの個別プランなどなど、怒涛の書類準備を行い、何とか締め切りに間に合わせました。（もうちょっと、準備に時間が欲しかった…愚痴です）

いざ点検会場に行くと、スチールの事務机、いかにも「研修・会議」の様子はなく、木を使った長テーブルを丸く囲んであり、やさしい雰囲気。心の中では、この環境に「ホッ」としている自分がおりました。普段、自分の支援内容やケアプラン内容がどうなのか、客観的に評価を頂いたり、より良い支援をするには、どのような点に着眼したらよいのか、などアドバイスを受ける事が少なくなっている状況ですが、今回の点検では、スーパービジョンのように、支援やケアプラン提案の着眼点のようなものを気づかせて頂きました。点検を受ける事ができ、振り返りも含めてよかったな、と思います。

(早川)





保険外看護サービス

Private nurse かなえーる946

看護師 川島 真希子さん

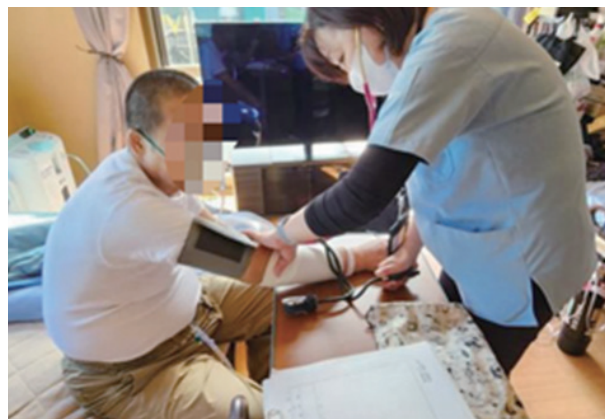
お問合せ 公式LINE登録 お申込みフォームより記入

お急ぎの時は電話にて 080-5584-4132

看護師の川島さんは長年の看護師経験を活かし、介護保険や医療保険では叶えられない事をサポートできるサービスとして「保険外看護サービス」の提供を始められました。

「これまでは利用者様からこれがしたいな…と言われても、資源や手段が無くて叶えられない事や、ケアマネが業務の範囲を超えて対応していた事もあったと思います。そのような事があればお気軽にご相談下さい。行けるところにはどこへでも行きます。」と川島さん。公式ホームページやInstagramでも情報発信されております。

(石若)



(写真) 入院中の外泊に付き添い中の川島さん

たとえば  
このような利用

- \* 本人が体を痛がっていて受診が必要そう！家族が連れて行けない！  
→ 救急搬送の必要なし。受診同行。帰宅後にヘルパーへ引継ぎ。
- \* 急性期の病院から療養型病院に転院となるが、少しでも家に帰って過ごしたい  
→ 数時間の滞在中、喀痰吸引を実施。家族との時間を過ごせた。
- \* 眩暈がひどく一人で受診ができない方に同行サポート。
- \* 入院中の外泊 \* 葬儀への同行 \* 介護者の受診の間に留守番 \* 退院直後の訪問
- \* 直接、看護師からアプローチしてほしい！ など

## 私のいやし



私の癒しは、2年前に保健所からお迎えしたベル(キジトラ♀2才)と、昨年譲渡会で譲っていただいたとあ(キジ白♂1才)の2匹の猫達です。とあは、ベルが大好きで甘えに行きますが、仲良くできるかはベルの機嫌次第。くっついて寝ていたり、追いかっこをしています。窓辺からお見送り、お出迎えしてくれる姿や、日向で気持ち良さそうに寝ている姿を見て癒されています。

(村松)

